

第4話 散文の物語

オキクルミが妻の姿を 人に見られて怒った話

収録日：1995年09月09日

資料番号：35226B

添付CD：5-4（8分45秒）

第4話 散文の物語「オキクルミが妻の姿を人に見られて怒った話」¹⁾

(平取の長者が語る)

ピラトウルン ニシパ アネ ヒネ
 piratur²⁾ un nispa a=ne hine
 平取 の 長者 (私)であって

私は平取に住む長者です。

アナン ペ ネ ヒケ
 an=an pe ne hike
 いる(私) もの だ が

アコタヌ タ ウェンクル ウムレク オカ
 a=kotanu ta wenkur umurek oka
 (私の)村 に 貧乏人 夫婦 いる

私の村に貧乏人の夫婦が

ウェンクル ウムレク オカ ヒネ
 wenkur umurek oka hine
 貧乏人 夫婦 い て

いて

- 5 コタン ケシ タ オカイ ペ ネ コロカ
 kotan kes ta okay pe ne korka
 村 下端 で 暮らす もの だ けれど

村の下端に住んでいましたが

ウェンクル ネ クス エホラク チセ オツ タ
 wenkur ne kusu ehorak cise or_ ta
 貧乏人 な ので 崩れる 家 の所 に

貧乏なので崩れかかった家に

オカイ ペ ネ ヒケ
 okay pe ne hike
 いる もの だ が

住んでいました。

オラ アコタヌ マク ネ ワ ネ ヤ ケムシ ワ
 ora a=kotanu mak ne wa ne ya kemus wa
 こんど (私の)村 どう して だ か 飢饉になって

そして私の村がどうしたことか飢饉になり

オラ ヤイウェンヌカラアン コロ オカアン。
 ora yaywennukar=an kor oka=an.
 こんど 苦しむ(私達) ながら 暮らす(私達)

私達は苦しい生活を送っていました。

(ここから貧乏人夫婦が語る)

- 10 ラポツケ オキクルミ³⁾ カムイ…
 rapokke okikurmi kamuy…
 そのうちに オキクルミ 神

そのうちにオキクルミ神

1 調査年月日は1995年9月9日。アイヌ民族博物館救護室においてこの翌日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」の準備として行われた調査。調査者、同席者は千葉大学中川裕氏、安田千夏、村木美幸。上田トシ氏はこの話の伝承経路については何もコメントしていないが、広く紹介されているよく知られた話である。あるいは田村すず子編著『アイヌ語音声資料6—国松さんと幸作さんの昔話—』所収「平取の村の下はずれに貧乏人の夫婦が住んでいました（オキクルミが妻の姿を人に見られて怒った話）」(話者：平村幸作) (pp.58-63) で聞き覚えたのかも知れない。

2 沙流郡平取町のアイヌ語原名。ピラウトウル pira-utur (崖・の間)。

3 口承文芸に登場する神の名。天から人間界に降りて来て人間に生活に必要なことを教えた神といわれる。「人文神」と訳されることもある。

先生 キリ ナンコロ (笑)⁴
 kir nankor
 知る でしょう

「先生知っているでしょう」

オキクルミ カムイ コロ カツケマツ
 okikurmi kamuy kor katkemat
 オキクルミ 神 の 妻

オキクルミ神の奥さんが

ケシ ト アン コロ
 kes to an kor
 毎日

毎日

アエプ エイメク コロ オマナン ペ ネ ア プ
 aep eymek kor omanan pe ne a p
 食べ物 を分け ながら 歩き回る もの だった が

食べ物を分けて回っていたのですが

15 ネ ウェンクル ウムレク エウンノ
 ne wenkur umurek eunno
 その 貧乏人 夫婦 に

その貧乏人の夫婦にも

ネ アエプ エイメク コロ オマナン ペ ネ ア プ
 ne aep eimek kor omanan pe ne a p
 その 食べ物 を分け ながら 歩き回る もの だった が

食べ物を分けていました。

オラ ネア ウェンクル ウムレク ウタラ
 ora nea wenkur umurek utar
 こんど その 貧乏人 夫婦 達

その貧乏人の夫婦は

エネ ハウェオカイ⁵。
 ene haweoka_hi
 このように言った

このように言いました。

“マカナク アン カツケマツ ネ ヒネ
 “makanak an katkemat ne hine
 どのように ある 妻 であって

「どんな奥さんが

20 エネ テケヘ ピリカ レタン ルウェ アン”
 ene tekehe pirka retar_ ruwe an”
 こんな 手 美しい 白い こと ある

こんなに手がきれいで白いんだろう」

セコロ ウェンクル ネ ワ オカイ ペ ネ コロカ
 sekor wenkur ne wa okay pe ne korka
 と 貧乏人 で している もの だ けれど

と貧乏人が

ウムレク ネ ワ エウコイタクパ コロ オカ ヒネ
 umurek ne wa eukoitakpa kor oka hine
 夫婦 であっ て 互いに話し ながら 暮らし て

夫婦で話し合っていました。

オラノ ネン カ ナヌフ…
 orano nen ka nanuhu…
 そして 誰 も 顔

4 千葉大学教授中川裕氏に対して言った上田氏の言葉。

5 冒頭は「ピラトウルの村長が私である」と語り出しているが、途中から貧乏人の夫婦が語る形になっている。

- テケヘ エネ ピリカ ルウエ ネ ヤクン
tekehe ene pirka ruwe ne yakun
手 こんな 美しい こと だったら
- 「手がこんなに美しいなら
- 25 ナヌフ ポヘネ マカナク アン
nanuhu pohene makanak an
顔 なおさら どのように ある
- 顔はどんな
- カッケマツ ネ ルウエ ネ
katkemat ne ruwe ne
妻 である こと だ
- 奥さんなのだろう」
- セコロ エウコイタクパ コロ…
sekor eukoytakpa kor…
と 互いに話し ながら
- と話し合って
- ウコイタクパ コロ オカ イケ カ
ukoytakpa kor oka _hike ka
互いに話し ながら 暮らし ても
- いました。
- ネ オキクルミ カムイ コロ カッケマツ
ne okikurmi kamuy kor katkemat
その オキクルミ 神 の 妻
- オキクルミ神の奥さんは
- 30 ケシト アン コロ
kesto an kor
毎日
- 毎日
- アエプ エイメク コロ オマナン
aep eymek kor omanan
食べ物 を分け ながら 歩き回る
- 食べ物を分けて歩き
- チュプ ヘトウク エトク タ
cup hetuk etok ta
太陽 出る 前 に
- 日が昇る前に
- アエプ エイメク コロ
aep eymek kor
食べ物 を分け ながら
- 食べ物を配って
- オマナン コロ アン ヒケ カ
omanan kor an hike ka
歩き回り ながら い て も
- 歩き回っていました。
- 35 ウェンクル ウムレク エウンノ
wenkur umurek eunno
貧乏人 夫婦 にも
- 貧乏人の夫婦にも
- ネノ イキ コロ オカイ ペ ネ ア プ
nenno iki kor okay pe ne a p
そう し ながら いる の だった が
- そのようにしてあげていたのですが
- ネ ウェンクル ウムレク ウタラ
ne wenkur umurek utar
その 貧乏人 夫婦 達
- 貧乏人の夫婦は

エネ ハウエオカイ。

ene haweoka_hi.

このように言った

こう言いました。

“エネ ピリカ テケヘ レタラ ワ

“ene pirka tekehe retar wa

こんな 美しい 手 白い 手

「こんなきれいな白い手

40 ピリカ テケヘ ネ クス

pirka tekehe ne kusu

美しい 手 だ から

なのだから

アエプ プヤラ カリ

aep puyar kari

食べ物 窓 から

食べ物を窓から

トゥリリ ラポッケ オヌイタサ

turiri rapokke onuytasa

伸ばす 間に 同時に

差し出した瞬間に

アテケヘ アトゥリ テク ヒネ

a=tekehe a=turi tek hine

(私)手 (私)伸ばす さっと して

手をさっと伸ばして

ネ カツケマツ テケヘ アシコエタイエ ヤクン

ne katkemat tekehe a=sikoetaye yakun

その 妻 の手 (私)引っ張る ならば

奥さんの手を引っ張ったら

45 テケヘ カ ナヌフ カ

tekehe ka nanuhu ka

手 も 顔 も

手も顔も

アヌカラ エアシカイ ナンコロ”

a=nukar easkay nankor”

(私)見る できる だろう

見ることができるだろう」

セコロ ウムレク ネパ ワ エウコイタクパ

sekor umurek nepa wa eukoytakpa

と 夫婦 し て 互いに話し

と話し合って

コロ オカ ルウエ ネ ア プ

kor oka ruwe ne a p

ながら 暮らす こと だった が

いたのです。

オラ シネアンタ スイ

ora sineanta suy

こんど あるとき また

そしてある日また

50 ネア カムイ メノコ アエプ エイメク コロ

nea kamuy menoko aep eymek kor

その 神 女 食べ物 を分け ながら

その女神が食べ物を分け与えに

エキネ ロルンプヤラ カリ

ek_hine rorunpuyar kari

来 て 神窓 から

来て

ネ ウェンクル ウムレク オロ タ
ne wenkur umurek oro ta
その 貧乏人 夫婦 の所 に

その貧乏人の夫婦の家で

ロルンプヤラ カリ テケヘ トウリリ アクス
rorunpuyar kari tekehe turiri akusu
神窓 から 手 を伸ばし たところ

神窓から手を伸ばしたところ

オヌイタサ ナニ
onuytasa nani
同時に すぐ

同時にさっと

55 ネア ウェンクル ウムレク ウタラ
nea wenkur umurek utar
その 貧乏人 夫婦 達

その貧乏人の夫婦が

トウン ネ ヒネ ネ カツケマツ テケヘ
tun ne hine ne katkemat tekehe
ふたり で して その 妻 の手

ふたりでその奥さんの手を

シコエタイェパ ルウェ ネ ア プ オラ
sikoetayepa ruwe ne a p ora
引っ張る の だっ た が こんど

引っ張ったのです。

(ここから平取の長者のセリフに戻る)

ピラトウルン エカシ
piratur un ekasi
平取 の 老人

平取のおじいさん

ヌプル クル⁶ エネ ハウエアニ。
nupur kur ene hawean_hi.
霊力がある人 このように言った

霊力ある人がこのように言いました。

60 “マク ネ ヒネ カムイ フム カ イサム
“mak ne hine kamuy hum ka isam
どう であって 神 音 も ない

「何だか雷の音も

ネプ カ フム カ イサム ペ… ア プ
nep ka hum ka isam pe… a p
何 も 音 も しない もの (だっ) た が

何の音もしていなかったのに

エネ エクシコンナ あの
ene ekuskonna
こんな 突然

突然

ウェンクル ウムレク ウニ エンカシケ ウン
wenkur umurek uni enkasike un
貧乏人 夫婦 の家 の上 に

貧乏人夫婦の家の上で

6 前掲書ではこの人物に関してはコタンコロクル kotan kor kur「村長」、コタンコンニシパ kotan kor nispa「村の長者」、ピラトウルンニシパ Piratur un nispa「ピラトウルの長者」としか出て来ず、「霊力がある」という表現は見られない。別話で上田トシさんが聞き覚えたと思われる田村すず子編著『アイヌ語音声資料6—国松さんと幸作さんの昔話—』所収「私はタンネサルに住む者です(振内の長者が平取の占者に救われた話)」(話者:二谷国松)(pp.2-9)に出て来るピラトウツ タ ヌプル エカシ piratur ta nupur ekasi「ピラトウルの霊力があるおじいさん」とイメージが重なったため、このような表現になったものか。

- カムイ オニシポソ フム アシ アナクネ
 kamuy onisposo hum as _hi anakne
 神 落ちる 音 立つ こと は
 雷が落ちる音がしたのは
- 65 ネン カ ウン
 nen ka un
 何 か しら
 何かしら
- ウェンクル ウタラ ネン カ ウン
 wenkur utar nen ka un
 貧乏人 達 何 か しら
 貧乏人の夫婦が
- カムイ シコイパクテ ソモ キパ コロカ ヘ
 kamuy sikoypakte somo kipa korka he
 神 罰せられる しない けれど か
 罰当たりなことをしたのではなかろうか。
- エネ カムイ オニシポソ”
 ene kamuy onisposo”
 こんな 神 落ちる
 あんな雷が落ちるなんて」
- セコロ ネ コタンコンニシパ ハウエアン…
 sekor ne kotankonnispa hawean…
 と その 村長 言う
 とその村長が
- 70 オヤモクテ ワ ハウエアン ルウエ ネ アクス
 oyamokte wa hawean ruwe ne akusu
 不思議に思っ て 言う こと だっ たところ
 不思議に思って言いました。
- ペウレ ウタラ ナニ
 pewre utar nani
 若い 人達 すぐに
 若者達をすぐに
- アラホユツパレパ ヒネ アラキパ ヒネ
 arhoyupparepa hine arkipa hine
 ひた走っ て 来 て
 走らせて
- ネ ウェンクル ウニ タ
 ne wenkur uni ta
 その 貧乏人 の家 に
 その貧乏人の家に
- アラキパ ルウエ ネ アクス
 arkipa ruwe ne akusu
 来る こと だっ たところ
 来たところ
- 75 ロルンソ カ タ ネア カツケマツ
 rorunso ka ta nea katkemat
 上座 の上 に その 奥さん
 上座の上にその女神が
- エイメク コロ オマナン ア アエブ
 eymek kor omanan a aep
 配り ながら 歩き回っ た 食べ物
 配って歩いていた食べ物が
- アチャツチャリ ヒネ アン ヒネ オラ
 a=catcari hine an hine ora
 (私)散らかし て あっ て こんど
 散らかっていて

ネア ウェンクル ウムレク アナクネ
 nea wenkur umurek anakne
 その 貧乏人 夫婦 は

貧乏人の夫婦は

トゥン ネ ヒネ オアラ トウクンネ ヒネ
 tun ne hine oar tukunne hine
 2人 で 全く しびれ て

ふたりともすっかりしびれきって

80 オカ ルウエ ネ ヒネ オラ… ア プ
 oka ruwe ne hine ora... a p
 いる こと であって こんど(だっ) た が

いたのでした。

オラ ネア ピラトウルン ニシパ コロ
 ora nea piratur un nispa kor
 こんど その 平取 の 長者 の

その平取の長者の

カツケマツ ネ ヤ
 katkemat ne ya
 奥さん だ とか

夫妻は

ネア ニシパ ネ ヤ ネ エアンチカリ
 nea nispa ne ya ne eancikari
 その 長者 だ とか その 夜

その夜

ウェンタラツパ ルウエ ネ アクス
 wentarappa ruwe ne akusu
 夢を見る こと だっ たところ

夢を見ました。

85 オキクルミ カムイ アネ ヒ イェ コロ
 okikurmi kamuy a=ne hi ye kor
 オキクルミ 神 (私)である こと 言い ながら

オキクルミ神だという神が

“ポヘネ ピラトウツ タ
 “pohene piratur_ ta
 なおさら 平取 に

「平取が

ケマン… コタン ケムシ…
 keman... kotan kemus...
 飢饉 村 飢饉になる

コタン ケムシ ネ ヤ
 kotan kemus ne ya
 村 飢饉になる だ とか

飢饉になって

アイヌ ウタラ アエプ カ イサン マ
 aynu utar aep ka isam _wa
 人間 達 食べ物 も なく て

人間達が食べ物もなく

90 アイヌ ウタラ アエランポキウエン ネ ヤ
 aynu utar a=erampokiwen ne ya
 人間 達 (私) 気の毒に思う だ とか

私は気の毒に思いました。

キ ワ クス
 ki wa kusu
 する から

そこで

アコロ カツケマツ レブンカムイ マツネポホ
a=kor katkemat repunkamuy matnepoho
(私)の 妻 沖の神 の娘

私の妻はシャチ神の娘

アマチヒ ネ ワ アナン ペ ネ イ クス
a=macihi ne wa an=an pe ne _hi kusu
(私)の妻 になって いる (私)ものだ から

なので

ネ アマチヒ ケシ ト アン コロ
ne a=macihi kes to an kor
その (私)の妻 毎日

妻が毎日

95 アエプ ルラ
aep rura
食べ物 を運ぶ

ピラトウルン アエプ ルラ… アルラレ ワ…
piratur un aep rura… a=rurare wa…
平取 に 食べ物 を運ぶ (私)運ばせ て

平取に食べ物を運んで

コロ アナン ルウエ ネ ア プ
kor an=an ruwe ne a p
ながら いる(私) こと だった が

いたのに

エネ アコロ カツケマツ
ene a=kor katkemat
このように (私)の 妻

あろうことか妻の手を

ウエンクル ウムレク ウタラ
wenkur umurek utar
貧乏人 夫婦 達

貧乏人の夫婦が

100 シコエタイエパ ヒネ
sikoetayepa hine
引っ張る して

引っ張った。

オラ ネ ヌカラパ ルスイ クス
ora ne nukarpa rusuy kusu
こんど その 見 たい ので

見たいがために

イキパ プ ネ クス
ikipa p ne kusu
する ものだ から

そのようにしたので

サラ ネットパケ ロルンソ カ タ
sara netopake rorunso ka ta
あらわな体 神窓 の上 で

正体をさらして神窓の上で

ホチカチカ シリ
hocikacika siri
ばたばたする 様子

ばたばたしている様子を

105 ウエンクル ウタラ ヌカラパ ワ
wenkur utar nukarpa wa
貧乏人 達 見 て

貧乏人達は見たのです。

エアラキンネ アコイパク クス
earkinne a=koypak kusu
本当に (私)罰する ために

罰を与えるため

テ ワノ アナクネ
te wano anakne
これ から は

これから

ネン コタン オツ タ アエフ サク ヤツカ
nen kotan or_ ta aep sak yakka
どんなに村 の所 で 食べ物 なく ても

どんなに村に食べ物がなくても

ハル エイメクアン ヤク…
haru eymek=an yak…
食糧 分ける(私) と

食べ物を分け与えない

110 ソモ キ ヤツカ ピリカ
somo ki yakka pirka
しない で いい

でいい。

ハル エイメクアン ヤツカ ピリカ ナ”
haru eymek=an yakka pirka na”
食べ物 分ける(私) しても いい よ

「そうしなさい(?)」

セコロ
sekor
と

と

“オラ ネア ウェンクル ウタラ アナクネ
“ora nea wenkur utar anakne
こんど その 貧乏人 達 は

「そしてその貧乏人達を

ネウン カ オヤ ペトルン ヘネ
neun ka oya pet or un hene
どこ か 別の 川 の所 に ても

どこか別の川筋にでも

115 オヤ コタン ウン ヘネ
oya kotan un hene
別に 村 に ても

別の村にでも

アエニウチンネ ヘネ キ ヤク オラ
a=eniwcinne hene ki yak ora
(人)追い出す ても すると こんど

追放したら

スイ ネン カ アイヌ ウタラ
suy nen ka aynu utar
また 何 か 人間 達

また何かで人間達を

カシ アオピウキ クス ネ ナ”
kasi a=opiwki kusu ne na”
を (私)助ける つもりだ よ

助けようではないか」

セコロ アン ウェンタラフ
sekor an wentarap
と ある 夢

という夢を

- 120 コタンコンニシパ カ
kotankonnispa ka
村長 も
村長も
- ネ コタンコンニシパ コロ カツケマツ カ
ne kotankonnispa kor katkemat ka
その 村長 の 妻 も
その奥さんも
- ウェンタラプ ルウエ ネ ヤク
wentarap ruwe ne yak
夢を見る こと だ と
見たと
- イシムネ イェパ ヒネ オラ ナニ
isimne yepa hine ora nani
翌日 言っ て こんど すぐに
翌朝口々に言いました。
- ネ コタンコンニシパ
ne kotankonnispa
その 村長
その村長は
- 125 ヤヤパプ ヒ イェ ア イェ ア コロ
yayapapu hi ye a ye a kor
謝る こと 何度も言い ながら
お詫びを何度も言いながら
- ナニ サケカラ ネ ヤ イナウカラ ヒネ
nani sakekar ne ya inawkar hine
すぐに 酒を作る だ とか 木幣を作る して
すぐに酒や木幣を作って
- ネア レブンカムイ コタヌン エピッタ
nea repunkamuy kotan un epitta
その 沖の神 村 の みんな
そのシャチ神に村じゅうで
- ネア オキクルミ カムイ エウン ネ ヤッカ
nea okikurmi kamuy eun ne yakka
その オキクルミ 神 に で も
そのオキクルミ神へも
- サケ アニ イナウ アニ ヤヤッタサ ヒ
sake ani inaw ani yayattasa hi
酒 で 木幣 で お礼をする こと
酒と木幣でお礼の言葉を
- 130 イェ ロク イェ ロク コロ
ye rok ye rok kor
何度も言い ながら
何度も言いながら
- カムイノミパ アクス
kamuynomipa akusu
神に祈っ たところ
儀式をしました。
- オラ エアシリ スイ
ora easir suy
こんど 本当に また
するとまた
- オキクルミ カムイ オロワノ
okikurmi kamuy orowano
オキクルミ 神 から
オキクルミ神は

- アエプ エイメク
aep eymek
食べ物 を分け与える
- 135 ケシト アン コロ アエプ エイメク ワ
kesto an kor aep eymek wa
毎日 食べ物 を分け与え て
- アエ⁷ コロ オカアン ペ ネ コロカ
a=e kor oka=an pe ne korka
食べ ながら 暮らす(私達) もの だ けれど
- オラ ネア ウェンクル ウムレク アナクネ
ora nea wenkur umurek anakne
こんど その 貧乏人 夫婦 は
- アコイパク ペ ネ クス
a=koypak pe ne kusu
(私)罰する もの だ から
- ネプ カ アコロパレ カ ソモ キ ノ オカ
nep ka a=korpale ka somo ki no oka
何 も (私)与えられる も しない で 暮らす
- 140 コロカ アエニウチンネ ヤク ピリカ
korka a=eniwcinne yak pirka
けれど (私)追い出す と いい
- セコロ ネ ア コロカ
sekor ne a korka
と 言っ た けれど
- ネウン カ アエニウチンネ ヒケ カ
neun ka a=eniwcinne hike ka
どこに も (私)追い出し て も
- パイェパ ワ オカ ウシケ カ イサム
payepa wa oka uske ka isam
行く している 場所 も ない
- イペ ヒ カ エネネ ヒ カ
ipe hi ka enene hi ka
食べる こと も どうする こと も
- 145 イサム ペ ネ クス
isam pe ne kusu
ない だ から
- アエニウチンネ カ ソモ キ ノ
a=eniwcinne ka somo ki no
(私)追い出し も しない で
- 食べ物を
- 毎日分け与えるようになり
- それを皆食べていましたが
- その貧乏人の夫婦は
- 罰を受けたので
- 何も与えられずに暮らしました。
- 追い出してしまえ
- と言っても
- 追い出しても
- どこに行くあてもない
- 食べるあても
- ないので
- 追い出しもせずに

7 ここから人称接辞が冒頭の形に戻っている。

- コタン オツ タ
kotan or_ ta
村 の所 に
村の
- コタン ケシ タ オカ ヤツカ
kotan kes ta oka yakka
村 下端 で 暮らし ても
はずれで
- ウエン シリキラプ ワ オカ イネ
wen sirkirap wa oka _hine
ひどく 苦労し て 暮らし て
ひどく苦労して暮らしていました。
- 150 … ペ ネ ア コロカ
… pe ne a korka
もの だった けれど
でも
- エイタサ ウエンクル ネ ヤ キ プ アナクネ
eytasa wenkur ne ya ki p anakne
あまり 貧乏人 だ とか する もの は
あまり貧乏人がしたことは
- アエランポキウエン ネ ヤ
a=erampokiwen ne ya
(人)同情する だ とか
同情も
- ナ ネン ネン ネ コロ
na nen nen ne kor
まだ いろいろ だ と
何も
- シオカ ウン ヤイエモンタサ… ペ ネ クス
sioka un yayemontasa… pe ne kusu
後 に 自分に仕返しする もの だ から
因果応報なので
- 155 エイタサ ウエンクル ネ ヤ
eytasa wenkur ne ya
あまり 貧乏人 だ とか
あまり貧乏人や
- ルケシサク ペ ネ… オカ ウタラ アナクネ
rukessak pe ne… oka utar anakne
子孫がない もの で いる 人達 は
子孫がない者達は
- エイタサ アケムヌ カ ソモ キ ヤツカ
eytasa a=kemnu ka somo ki yakka
あまり (私)同情する も しない でも
同情しすぎないで
- ピリカ プ ネ セコロ
pirka p ne sekoro
いい もの だ と
いいものだと
- ピラトウルン エカシ
piratur un ekasi
平取 の 老人
平取のおじいさんが
- 160 イソイタク セコン ネ。
isoytak sekoro ne.
物語る と さ
物語りましたとさ。